

●人口推計の見込み方

人口推計については、次のように見込んでいる。

1年度が経過し、歳児が一つ増えた時の人口増減を変化率として乗じ、マンション等の開発による増を足す。

★イメージ

	実績	推計
年	R6	R7
出生数	1,055	1,215
0歳	1,055 93.1% + 6人	1,223 開発による増 8人
1歳	1,084 変化率+開発による増 94.05% + 6人	988
2歳	1,045 94.35% + 6人	1,025
3歳	996 98.1% + 6人	992
4歳	990	983

出生数：15～49歳女性推計人口※1 × 15～49歳の女性人口に対する0歳児の割合※2

※1 前年の一歳下の女性人口 × 変化率（H31⇒R2～R5⇒R6の1年齢増えた時の変化率平均を使用）

※2 R2～R6（5年間）の平均の割合を使用

（例 R7年度の15～49歳の女性推計人口 37,332人 × 0歳児割合（過去5年平均）3.255% ≒ 1,215人）

マンション等の開発による増・・・入居開始するマンションの状況を翌年度に反映

反映数の見込み方 2DK以上の戸数 × 1世帯あたりの人員 × 年齢別按分率

（例 0歳・6人の場合は、R6入居開始戸数359戸 × 1世帯あたり2.17人 × 0歳児の按分率0.8533%）

国が示すニーズ調査結果を用いた量の見込みの算出方法について

●国が示す量の見込みの算出方法

国が示す量の見込みの算出方法は、ニーズ調査結果における保護者の就労状況から「家庭類型」(※)の割合を算出し、家庭類型ごとにニーズ調査結果から「利用意向率」(人日を単位としている事業は「利用意向率」×「利用意向日数」)を算出し、それらを年齢ごとの人口推計に掛け合わせることで算出している。

$$\begin{aligned} \text{年齢ごと人口推計} \times \text{家庭類型の割合} \times (\text{家庭類型ごと}) \text{利用意向率} \\ = (\text{家庭類型ごと}) \text{量の見込み} \end{aligned}$$

家庭類型ごとの量の見込みを足し合わせ、各年齢の量の見込みを算出する

(※) 家庭類型について

- タイプA × ひとり親
- タイプB × フルタイム × フルタイム
- タイプC × フルタイム × パートタイム (※1)
- タイプC' × フルタイム × パートタイム (※2)
- タイプD × 専業主婦(夫)
- タイプE × パート×パート (※1)
- タイプE' × パート×パート (※2)
- タイプF × 無業×無業

※1 月120時間以上+下限時間(48時間) ~ 120時間の一部

※2 下限時間未満+下限時間(48時間) ~120時間の一部

(参考) こども・子育て支援に関するニーズ調査等結果について

実施時期 令和5年11月30日 から 12月27日まで

対象世帯 就学前の児童がいる世帯 46,693世帯
(うち、有効回答 20,589人)
小学生がいる世帯 11,913世帯
(うち、有効回答 5,262人)